

日本農業経営大学校 2020、2021 年度入学者募集中！

2019年7月8日
JA 仙台

日本農業経営大学校は農林中央金庫が中心となり、約 260 の企業団体の支援で 2013 年に開校しました。

講義や農業、企業実習を通じ、農業経営に必要な技術、経営力を総合的に育てます。特待生制度もあり、学費の心配をせずに勉強に専念できる環境もあります。特待生入試は認定農業者の子弟や農業法人の代表者・役員の子弟等を対象としたもので、合格者には年間 160 万円の給付型奨学金を 2 年間支給（授業料と寮費に相当）します。

■ オープンキャンパス日程＜本校（東京）＞

2019年8月31日（土）

■ 学校説明会日程＜本校（東京）＞

【東京】2019年8月7日（水） ※夜間開催・社会人向け

2019年10月26日（土）

2020年1月18日（土）

フーズ アップ 農業経営 宮城県仙台市で就農/1期生 相原美穂さん

東京・品川で農業経営者を育成する「日本農業経営大学校」
農林中央金庫が中心となり、約260の企業団体の支援で2013年に開校
この学校で農業経営について学び、巣立っていった卒業生にインタビューしました

農 業という土壌を活かして、ここで生活する人たちの日常を豊かにしたい
仙台は都会だと思ってしまうのですが、都市の発展とともに農業も形を変えて成長し、生産地と消費地がしっかりと共存している場所です。その中で私は、農業という土壌を活かした情報発信や、農業を介したコミュニケーションをはかり、ここで生活する人の日常を豊かにしたいと考えています。

米、酒づくりの文化や背景を見直し、新しい形で世の中に浸透させたい
お米を外部に販売するよりも宮城県内での県産米の消費を増やしたいと思ひ、酒蔵に「ササニジキ」を日本酒の原料として卸しています。実際に仕込んだ日本酒をオリジナルラベルバージョンで特別に買い取らせていただき、イベント等で販売もします。また、酒蔵さんと飲食店さんと日本酒の会を開催し、お客様の生の声はもちろん、酒蔵さん、飲食店さんの意見を聞くことで、お米の新たな価値を生み出すことに繋がります。さらには取引先やお客様に生産者の想いをより一層浸透させていくことになると思っています。

耕 作放棄地を何とかして、露地栽培を始めました
露地栽培の野菜と水稲に力を入れています。冬は仙台の伝統野菜「曲がりネギ」を中心に、夏はブロッコリー、とうもろこし、レタスなどの大型野菜を生産しています。その日の朝に収穫したものが、昼には陳列されるといった鮮度を意識した販売を心掛けています。水稲は日本酒の製造用に作付けしており、父から栽培技術と経営の両輪を学びながら耕作をしています。新たな取り組みは手探りな部分も多いですが、父からの教えと学校で学んだことを活かし、次の時代につなげるような自らの経営を確立していきたいと考えています。経営を確立し、面積を拡大することで、結果的に耕作放棄地の解消にも繋がってくればと考えています。

本校の2年間は自分が目指すべき農業経営像を見つけるためのものと言えます。学生は2年間の学びを通して身につけた学びを活かし、自分自身の将来を見据え、堅実的、独創的、なにより意欲的な経営計画をそれぞれが思い描き、形にして卒業していきます。日本の将来のために農業経営者の種を撒く、日本農業経営大学校はそんな学校です。

2020年4月 入学生募集中
第2回オープンキャンパス 《会場:本校(東京)》
2019年8月31日(土)
【給付型奨学金制度】特待生制度を設置
所定の条件に合致し、特待生入学試験に合格した方を対象に授業料・寮費160万円を給付します。
対象者 農業法人代表者・役員の子弟、幹部候補者、認定農業者の子弟(二親等以内) 農業者大学校等の成績優秀者
特待生入試 募集締切日 **2019年10月3日(木)**

日本農業経営大学校 入試事務局
〒108-0075 東京都港区港南2丁目10番13号 農林中央金庫品川研修センター5階
TEL:03-5781-3751 / MAIL:admission@aji.or.jp

詳細な情報はコチラから
学校ホームページ (PC・スマートフォン共通)
<http://jaiam.afj.or.jp/>

※オープンキャンパスおよび学校説明会等の詳細は、学校ホームページからご確認ください。
日本農業経営大学校のホームページはこちら

<https://jaiam.afj.or.jp/>